



3月定例会

平成20年度一般会計当初予算は

総額 28億7,400万円

(前年度比1.7%増)

19年度3月定例会が、3月4日から12日までの9日間にわたり開催され、条例の一部改正や町有財産の無償貸付、平成20年度各会計当初予算案等47議案と追加議案2件が提案され、可決されました。
平成20年度一般会計当初予算の総額は28億7,400万円で、新規事業として、地域活動支援事業が計上されたほか、藤琴地区ほ場整備事業、ツーリズム推進事業、林道米代線開設事業等が継続分として実施されます。

行政報告

◆平成19年秋田県飲酒運転追等競争について

酒酔い運転での現行犯逮捕1件はあったものの、全県2位となり秋田県知事表彰を受けていますので報告します。

当町の交通死亡事故ゼロ日数は、3月1日で2,380日となり、秋田県内では現在のところ最長の記録となっています。今後は、飲酒運転の撲滅はもちろんのこと、当町の交通死亡事故ゼロ3,1

50日の記録更新に向けて町民と一体となり、交通安全に取り組んで参りたいと存じます。

◆平成20年産米の生産数量目標について

昨年の12月16日、県より市町村別の目標が示されました。20年産米の生産数量目標は、米の過剰基調を受け、国全体においては前年比1.6%減、秋田県においては低調な県産米の販売動向も影響し、前年比4.9%の減となりました。

当町への配分は、減収率が県平均を下回ったものの、前年比3.8%減の2,837tとなり、転作に置き換えると21haの転作目標面積の増となりました。しかしながら、当町の場合、転作目標の増加分については20年度に土地改良事業の実施面積が増えることもあり、町内農家間での調整が可能と見込んでおります。また、20年度以降の生産調整を確実に達成し、安定した水田農業の実現を図るため、国の補正予算において地域水田

歳入

【予算規模：28億7,400万円】

(単位：万円)

